

# 情報公開文書

研究の名称	Photon-counting detector CTを用いた膝関節の軟部組織構造の可視化について
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学学術研究部医学系 放射線診断・治療学 講師 道合万里子
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山大学付属病院において2024年1月から2024年8月の間に膝関節をPhoton-Counting detector detector CT (PCD-CT) で撮像した患者さん。</li> <li>・富山大学付属病院において2022年8月から2024年12月の間に膝関節を従来型 energy-integrated detector CT (EID-CT) で撮像した患者さん。</li> <li>・</li> </ul> <p><b>【研究の目的・意義】</b></p> <p>PCT-CT と従来型 EID-CT を用いて撮像した膝関節の軟部組織構造の描出能を比較することを目的とする。PCT-CT は劇的な空間分解能の改善が見られることより膝関節の軟部組織構造について従来型 EID-CT に比較して可視化の向上が得られればMRI撮像困難な場合の代替え検査となり得る可能性があり、その評価は有意義である。</p> <p><b>【研究の方法】</b></p> <p>Photon-Counting CT (SOMATOM Alpha SIMENS 社)、Dual-Energy CT (SOMATOM Force, SIMENS 社) を用いて過去に撮像された膝関節CT画像を研究に用いる。診療記録から対象症例の年齢・性別・傷病名、MRI検査などの臨床情報を調査し、画像解析処理にてPCD-CT及びDual-Energy CT画像を再処理し得られた画像よりその画質描出能を比較評価する。</p> <p><b>【研究期間】</b></p> <p>実施許可日 ～ 2026年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b></p> <p>医学雑誌・学会での発表にて公表を予定している。</p> <p><b>【利益相反の状況】</b></p> <p>公開する利益相反はありません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p><b>【診療目的で取得・保有する診療情報】</b></p> <p>年齢、性別、傷病名、傷病期間、医療画像</p> <p><b>【研究の実施に伴って取得する情報】</b> CT画像、MRI画像</p> <p><b>【他機関への提供】</b> 無</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院長 山本善裕
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 (研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学学術研究部医学系 放射線診断・治療学 講師 道合万里子
研究対象者、親族等関係	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)

者からの相談等への対応窓口	を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7326 FAX 076-434-5031 E-mail doaimari@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名:富山大学学術研究部医学系 放射線診断・治療学 講師 道合万里子
---------------	---